

コミュニティスクールだより



令和5年6月13日

1 オンライン授業の取組について

5月13日(土)の土曜授業日(オンライン授業)に合わせて、第2回学校運営協議会を開催しました。オンライン授業の様子を実際に参観し、学校の取組について意見交換を行いました。次のような意見が出ました。

(玉野校長)

・オンライン授業の取組が3年目になりました。児童がタブレット端末の操作に慣れ、グループワークをしたり、ワークシートに入力したり行えるようになっていきます。学校、学級閉鎖の非常時でも、子どもたちの学びが途切れないようにオンライン授業ができるよう備えています。

(委員の感想)

・先生方が工夫して、オンラインでも分かりやすい授業を行っていた。

・まるで教室に子どもがいるように先生方が対応していた。子どもがよく発言をして授業に取り組んでいた。

・子どもたちのオンライン授業での操作や文字入力などが早く、機器に慣れている様子が見られた。

・休憩時間はチャットなどを行い和やかな雰囲気だったが、授業時間になるとしっかり切り替えてオンライン授業に取り組んでいた。

2 確認事項

(1) 新型コロナウイルス感染症5類以降後の学校の対応について

(2) 自然災害への学校の対応について

3 協議事項

・おやじの会の活動について

「おやじの会」の活動内容や地域学校協働本部との連携について協議しました。

(おやじの会代表)

・おやじの会は約20年前から任意団体として活動しています。コロナの影響で活動ができなかったり、縮小されたりしてきたが今年はコロナ前のような活動を再開していきます。そこでおやじの会の活動について、この場を借りて確認したいです。

(委員より)

・おやじの会はPTAの関連団体と認識していたが、今回伺ってPTAとは別組織ということがわかった。

・おやじの会は、スクールサポート調布大塚(地域学校協働本部)の活動団体であるので、活動について本部と連携して行ってほしい。

・スクールサポート調布大塚のボランティア活動などと同じように、おやじの会の活動も情報共有して、協力して行っていきたい。

次回、学校運営協議会は7月8日(土)に開催いたします。